

平成29年度当初予算案主要事項説明

文化スポーツ部・健康福祉部・教育委員会

事業名	子どもの未来を守る事業費		
予算額	2,448,049千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容	1 目的 すべての子どもが生まれ育つ環境に左右されことなく、その将来に夢や希望を持って成長していけるよう、施策を推進する。		
	2 内 容 教育：451,982千円 (単位:千円)		
	事 項	内 容	予算額
	(1)「家庭の養育力」を高め、未来を守る		
	私立高等学校あんしん 修学支援事業(一部)	修学の意志のある私立高校生が安心して勉学に打ち込めるよう修学費用負担を軽減	1,399,034 ①
	母子父子寡婦福祉資金貸付金	母子父子寡婦世帯への経済的助成のための資金貸付を実施	444,617 ②
	(2)「学校の教育力」で未来を守る		
	京都式「学力向上教育 サポーター」事業	・子どもの学習・生活支援プラットフォーム事業 ・京都式「効果のある学校」推進事業	156,742 ⑤
	小学生個別補充学習 実施事業	・小学5年生段階の学習のつまづきを解消するため、 小学4、5年生に補充学習を実施	25,000 ⑤
	府立高校「セカンドラー ニング教室」設置事業	高校中退等を防止するため、学力に課題のある生徒 を対象に個別指導を実施	1,000 ⑥

目的
対象
方法等

④

学びと育ちを支える保
幼小等連携推進事業

保幼小等の円滑な接続を図るため、小学校での体験
入学等や言葉の習得等に効果的な取組を実施

2,000 ⑤

事業内容	(3) 「地域力」で未来を守る		
	⑧ きょうとこどもの城づくり事業	子どもの生活習慣の確立と学習習慣の定着を支援する「こどもの城」の設置・運営支援及び子どもの貧困対策の推進やフードバンク活用等の取組を実施	145,032
	⑧ きょうと子ども食堂	子ども食堂の開設と運営を支援(年12日以上実施) 〔運営費:1万円/日(上限150日)〕 〔開設費:20万円/1か所〕	(26,000) ②
	⑧ こどもの居場所	ひとり親家庭のこどもの居場所の運営・開設支援	(82,230) ②
		生活困窮世帯等の子(中学生等)を対象とした居場所を設置し、生活能力や学力等の向上を支援	(5,332) ③
	⑧ 地域未来塾	地域の協力による小・中学生対象の原則無料の学習支援	(10,110) ⑦
	⑧ シェアハウス	児童養護施設の退所児童などを対象としたシェアハウスを開設(3か所)	(12,000) ②
	⑧ フリースクール	不登校児童・生徒の社会的自立を支援(再掲)	(3,000) ⑤
	⑧ 「子ども食堂」食材供給体制構築事業等	フードバンク事業者等との連携を強化し、「こどもの城」などへ食材が届けられるような仕組みを構築	(6,360) ②
	⑧ 訪問型家庭教育支援事業	様々な課題を抱える家庭への訪問型家庭教育支援の体制構築と家庭や子どもを地域で支える取組を推進	5,500 ⑦
	不登校児童生徒対策事業費	フリースクール等で学ぶ不登校児童生徒への支援や適応指導教室の設置・機能拡充を支援(一部再掲))	25,840 ⑤
	子どもの未来づくりサポーター活動支援事業	若い世代が主体となった子どもの貧困対策に係る取組に対する支援	2,600 ②
	施設等入所児童社会生活自立支援事業	児童養護施設等の入所中から退所後を通じて児童の生活や就労に関する支援	15,894 ②
	⑧ 次世代下宿「京都ソリデール」事業(福祉型)	高齢者等とのマッチングがなされたひとり親家庭や生活困窮世帯等の子等への下宿代の一部を支援	2,000 ②
	計		2,448,049
担当課名 及び 電話番号	① 文教課 経営・教育支援担当(075-414-4516) ② 家庭支援課 母子・父子担当(075-414-4584) 家庭福祉担当(075-414-4582) ③ 福祉・援護課 生活・就労一体型支援担当(075-693-8243) ④ 教職員課 人事担当(075-414-5799) ⑤ 学校教育課 指導第1担当(075-414-5842) 指導第2担当(075-414-5840) 人権教育室(075-414-5822) ⑥ 高校教育課 指導第2担当(075-414-5852) ⑦ 社会教育課 振興担当(075-414-5884)		

平成29年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	文化財保護対策の充実		
予算額	1,992,407千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 京都府内の貴重な文化財を適切に保存・活用することにより、文化財の後世への継承を図る。		
	2 事業内容 (単位：千円)		
	事業名	内 容	事業費
	文化財保護緊急強化事業費	府内の貴重な文化財を災害破損・流出防止の観点から早期保護を図るため、新たに創設する府独自の「暫定登録文化財」等の保存修理や防災対策としての整備に対する助成等を強化	213,500
	暫定登録文化財等緊急修理保護事業費 新規	「暫定登録文化財」の緊急修理や防災対策の助成	100,000
	府指定・登録文化財保存修理事業費 拡充	「府指定・登録文化財」の保存修理等に対する助成	94,000
	未指定文化財現況調査 新規	「暫定登録文化財」の登録に向けた調査等を実施	10,000
	建造物・史跡・埋蔵文化財の活用等 一部新規	国指定建造物保存修理現場公開や新たに史跡・埋蔵文化財のツアー等を実施	9,500
	歴史的建造物等保存伝承事業費	文化財を後世に継承するため、建造物等の保存修理や文化財維持管理等に要する経費の補助等を実施	1,733,907 (1,743,407)
	建造物保存修理受託事業費	国指定文化財建造物の受託修理	1,662,508
	国指定文化財等保存修理・維持管理費補助金 等	国指定文化財等所有者が行う保存修理・維持管理事業等に補助 等	71,399
	京都の史跡・埋蔵文化財活用事業費 等 (再掲)	国史跡恭仁宮跡や府内の文化財を活用し、ツアー等を実施	(9,500)
	埋蔵文化財調査保存事業費	埋蔵文化財の保護と開発事業との調整を図るため、確認調査の実施や市町村が実施する調査への補助を実施	45,000
	計		1,992,407
担当課名	文化財保護課	企画調整担当 建造物担当 管理調査担当 記念物担当	電話番号 075-414-5896 075-414-5898 075-414-5905 075-414-5903

平成29年度当初予算案主要事項説明

教 育 委 員 会

事業名	京都式「文化・歴史」教育推進事業費		
予算額	91,980千円	新規・継続の別	拡充
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 京都が有する伝統文化や歴史に触れることにより郷土愛を育み、文化歴史に興味を持つとともに、小中高を通じて得た知識、技術や礼儀作法をグローバルに発信できる人材を育成する。		
	2 内容 (単位:千円)		
	事項名	内 容	事業費
	① インプット【知る！触れる！学ぶ！】		47,550
	KYO発見 仕事・文化体験活動推進事業 拡充	地域の協力のもと、地域の伝統・文化体験、ボランティア活動を実施 (和装等内容拡充)	15,000
	こころを育む古典の日推進事業	小・中学生による古典作品等の朗読・暗唱大会を開催し、古典に親しむ児童生徒を育成	1,000
	高校生伝統文化事業 拡充	・京都府にゆかりの深い茶道・華道・古典を通じた伝統文化の学習 ・文化歴史推進校の創設	23,000
	高校生「京の文化力」推進事業	府立高校の文化部活動への支援等を通じて京都文化を次世代へ継承	8,550
	② アウトプット【文化・歴史価値発信！】		44,430
	府立高校生グローバルチャレンジ事業 拡充	イギリスエディンバラ市やオーストラリアアデレード市での語学研修などの短期留学に助成 オーストラリア (2840人→2960人)	26,500
	府立高校「海外サテライト校」事業 拡充	米・豪・加に2～4箇月程度の中期留学を実施 (2810人→2920人) 現地履修科目を在籍校の履修単位として認定など安心して留学できる環境を確保	14,930
	府立高校生グローバル文化カフェ事業	教育旅行・観光訪日外国人との「おもてなし文化交流」を実施	3,000
	計		91,980
担当課名	学校教育課 企画振興担当 指導第1担当 指導第2担当 高校教育課 振興担当 指導第2担当	電話番号	075-414-5831 075-414-5833 075-414-5840 075-414-5815 075-414-5852

平成29年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	子どものための京都式少人数教育推進費									
予算額	4,361,308千円	新規・継続の別	継続							
事業内容 （目的） 対象 方法等	1 目的 義務教育9年間を見通し、児童生徒や学校の実態に即して必要な教員を配置し、一人一人の児童生徒に確かな学力を定着させる。									
	2 内容 (1) 京の子ども・少人数教育推進費									
	<table><tr><td>予算額</td><td>4,098,243千円</td></tr></table>			予算額	4,098,243千円					
	予算額	4,098,243千円								
	○小学校3～6年生で30人程度の学級編制が可能となるよう教員を配置									
	○配置した定数を活用し、市町村教育委員会が学校や児童生徒の状況に応じて少人数授業・ティームティーチング・少人数学級を選択して実施									
	<table><tr><td>少人数授業</td><td>児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開</td></tr><tr><td>ティームティーチング</td><td>学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開</td></tr><tr><td>少人数学級</td><td>市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制</td></tr></table>			少人数授業	児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開	ティームティーチング	学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開	少人数学級	市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制	
	少人数授業	児童生徒を習熟度別・課題別等に分けて、少人数授業を展開								
	ティームティーチング	学級に複数の教員が入り、連携して授業を展開								
	少人数学級	市町村の判断により、40人を下回る人数で学級を編制								
中学校少人数教育推進費										
○全ての中学校で35人を超える学級規模の解消 又は										
○英語・数学を中心とした習熟度別授業の充実が可能										
(2) 小学校低学年指導充実費										
<table><tr><td rowspan="2">配置学級数</td><td>1年</td><td>約120学級</td></tr><tr><td>2年</td><td>約110学級</td></tr><tr><td colspan="2">予算額</td><td>263,065千円</td></tr></table>			配置学級数	1年	約120学級	2年	約110学級	予算額		263,065千円
配置学級数	1年	約120学級								
	2年	約110学級								
予算額		263,065千円								
○小学校1・2年生で、2人の教員による指導を実施										
○配置については、30人を超える学級を基本とするが、各学校の状況等に応じて弾力的に運用										
担当課名	教職員課 人事担当 学校教育課 指導第1担当	課・担当 電話番号	075-414-5799 075-414-5833							

子どものための京都式少人数教育推進費

「まなび教育推進プラン」の重点施策の具体化のため、小学校で30人程度、中学校で35人以下の学級編制が可能となるよう少人数教育を充実

小1・小2の35人学級の実施
(継続)

小学校

1年

2年

小学校低学年指導充実費
(継続)

予算額 263,065千円
(28 514,478千円)

○授業等に集中できなかったり、教員との関わりを強く求める小学1、2年生で2人の教員による指導を実施

京の子ども・少人数教育推進費

次の3つから
市町村が選択

少人数授業

子どもの興味・関心や習熟の程度などによって、特定の教科で学級の枠を超えた20人程度のグループで指導

チームティーチング

1クラスを2人の教員が協力して指導

少人数学級

40人未満の人数で学級を編制

小学校

3年

4年

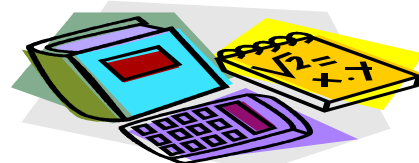
5年

6年

京の子ども・少人数教育
推進費 (継続)

予算額 4,098,243千円
(28 7,600,510千円)

○30人程度の学級編制が可能となるよう教員配置を実施



中学校

1年

2年

3年

【再掲】
中学校少人数教育推進費
(継続)

予算額 100,000千円
(28 195,000千円)

○35人を超える学級規模の解消
又は
○英語・数学を中心とした習熟度別授業の充実が可能

平成29年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	府市連携学力向上対策事業費						
予算額	150,000千円	新規・継続の別	新規				
事業内容	1 目的 中高連携により、京都市内の中学生の学力向上や問題行動の改善を図るため、高校教員（常勤講師）を派遣し、高校への就・修学を支援する。						
	2 内容 京都市内の府立高校を「学力向上連携指定校」として指定し、家庭状況の厳しい生徒が在籍する京都市立中学校（10数校程度）に対して、高校教員（常勤講師）を2～3名体制で指定校から派遣（3年間限定）						
目的 対象 方法等	<table><tr><td>配置形態</td><td>常勤講師24名程度</td></tr><tr><td>活用方法</td><td>府立高校（指定校4校程度）から京都市立中学校（10数校程度）へ2～3名体制で派遣</td></tr></table> <u>○参 考</u> 府内（京都市除く）の府立高校（4校程度）を「学力向上連携指定校」として指定し、高校教員を府内の中学校へ2～3名体制で派遣			配置形態	常勤講師24名程度	活用方法	府立高校（指定校4校程度）から京都市立中学校（10数校程度）へ2～3名体制で派遣
配置形態	常勤講師24名程度						
活用方法	府立高校（指定校4校程度）から京都市立中学校（10数校程度）へ2～3名体制で派遣						
担当課名	教職員課 人事担当	電話番号	075-414-5799				

平成29年度当初予算案主要事項説明

教 育 委 員 会

事業名	京都市「学力向上教育サポーター」事業費		
予算額	156,742千円	新規・継続の別	拡充
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 子どもの学習・生活支援プラットフォーム事業 143,742千円 (1) まなび・生活アドバイザー配置 87,191千円 (2) 社会福祉士・臨床心理士等派遣 56,551千円 拡充		
	目的 (1) 児童生徒の基本的生活習慣の確立、学習習慣の定着等を図る。 (2) 学校で教育と福祉が連携したケース会議を開催できる体制を整備する。		
	内容 (1) 府内の小・中学校に「まなび・生活アドバイザー」を配置し、児童生徒の基本的生活習慣の確立、学習習慣の定着等を支援する。 (㊟小学校21人、中学校18人) 拡 (2) 子どもの状況に応じて、教育的、福祉的観点から学習・生活支援策を検討・実施できるよう、全ての学校に「社会福祉士、臨床心理士等」を派遣する。		
	2 京都市「効果のある学校」推進事業 13,000千円 目的 困難な状況に置かれている児童生徒をはじめ、すべての児童生徒の基礎学力の充実と希望進路の実現を図る学校づくりを推進する。 内容 小中学校に「学校経営・組織体制」、「発達障害・不登校」、「幼児教育」の3つの専門家チーム（「教育力向上型」サポーター）を派遣するとともに、学区の地域をつなぐ「地域ネットワーク型」サポーターを配置し、学力課題の調査・分析や指導、地域のネットワークづくりを実施する。		
担当課名	学校教育課 指導第1担当 学校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5833 075-414-5840

平成29年度当初予算案主要事項説明

教 育 委 員 会

事業名		効果の上がる学力対策事業費			
予算額		126,234千円		新規・継続の別	一部新規
事業内容	1 目的 児童生徒に確かな学力が身につくよう、基礎基本の徹底や個別課題に対応するための取組を充実し、学力向上に向けた実践的・効果的な支援を実施する。				
	2 内 容 (単位：千円)				
	事 項		内 容		事業費
	京都式「学力向上学習システム」の構築 新規		個々の課題に応じた指導を行うため、つまずき部分と遡り復習が連動した自動学習計画システムの構築・実践		1,000
	学びと育ちを支える保幼小等連携推進事業 新規		保幼小等の円滑な接続を図るため、小学校での体験入学事業を推進するとともに、学力の基盤となる言葉の修得等に効果的な取組や家庭状況の把握を実施		2,000
	小学生個別補充学習（ジュニア・わくわくスタ） 拡充		学習内容が高度化する小学4・5年生段階のつまずきを解消するための個別補充学習を実施校を拡充して実施 （教科：国語、算数等）		25,000
	中2学力アップ集中講座 拡充		中学2年生段階における基礎学力の定着と発展学習のための集中学習を実施校を拡充して実施（教科：国語、数学等）		20,000
	中1振り返り集中学習「ふりスタ」		中学1年生の早期に基礎基本を徹底し、学習のつまずきの解消を図るため、補充学習を実施（教科：国語、算数等）		30,000
	小・中学校学力診断テストの実施		府内小中学校の児童生徒の学力を客観的にきめ細かく把握することで、個々に対応した指導及び授業改善を実施		23,400
			小学校		
			中学校		
			対象：第4学年 教科：国語・算数		対象：第1・2学年 教科：国語・数学、英語（中2）
	中学生読解力向上対策		「読む力」「書く力」を実生活で活用できる力を身に付けた生徒を育成するため、中学生を対象とした小論文グランプリ等を実施		1,116
	大学の先生に学ぼう体験事業		大学と連携を図り、未来に向かって夢と希望を持って学ぼうとする児童生徒を育成するため、出前や受け入れによる体験授業等を実施		5,500
	理科教育推進事業		理科の観察実験の機会確保と質の向上に向けた理科支援員の配置や大学教授等による指導助言を実施		8,000
学力向上システム開発校等		学校独自の研究計画による創意ある教育活動を行う研究校の指定等を実施し、その成果の波及により府全体の学力向上を推進		10,218	
		計		126,234	
担当課名	学校教育課 指導第1担当 学校教育課 指導第2担当		電 話 番 号		075-414-5833 075-414-5840

平成29年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名		京都次世代グローバル人材育成事業費		
予算額		261,330千円	新規・継続の別	拡充
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 高校生の海外留学支援等を通じて、コミュニケーション能力や多様な文化を理解し尊重する資質や能力を備え、国際社会で活躍できるグローバル人材を育成する。			
	2 内容 (単位:千円)			
	事項名	内 容	事業費	
	① 英語教育のための基盤強化		216,900	
	英語教育人材育成強化事業	中学校教員の英語力向上 新学習指導要領の全面実施に向けて、 TOEIC受験による英語力把握、 研修機関による集中セミナーを実施	7,500	
		教員の英語指導力向上 外部専門機関と連携して中核教員を養成	2,385	
		英語教育強化地域拠点における課題研究 小学校英語教育の教科化等を研究	3,415	
	英語指導助手の配置	JETプログラムを活用し、全府立高校にAETを配置	203,600	
	② 高校生の海外留学支援等		41,430	
	府立高校生グローバルチャレンジ事業	オーストラリアアデレード市語学研修 (2840人→2960人) 拡充 現地高校での授業受講等の短期留学に助成	12,000	
		英国エディンバラ市語学研修(30人) 友好提携を結ぶエディンバラ市でのスピーキングなどの本格的な短期留学に助成	7,500	
		海外短期留学チャレンジ(15人) 海外で様々な事にチャレンジするための短期留学に助成	3,000	
		海外短期派遣支援	4,000	
	府立高校「海外サテライト校」事業 拡充	米・豪・加に2～4箇月程度の中期留学を実施(2810人→2920人) 現地履修科目を在籍校の履修単位として認定など安心して留学できる環境を確保 国際バカロレア調査研究	14,930	
	③ 多様な文化の理解促進		3,000	
	府立高校生グローバル文化カフェ事業	教育旅行・観光訪日外国人との「おもてなし文化交流」を実施 (例) 英語による観光ガイド 京料理等の伝統文化共同体験 等	3,000	
	計			261,330
担当課名		学校教育課 指導第2担当 高校教育課 振興担当	電話番号	075-414-5840 075-414-5815

平成29年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	確かな学力を身につけるための支援事業費		
予算額	41,972千円	新規・継続の別	継続
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目的 生徒一人一人の能力・個性を伸ばすための学力と、学校生活の基礎・基本の向上と定着を図り、「確かな学力」の学習活動につながる取組を支援する。		
	2 内 容 (単位：千円)		
	事業名	概 要	事業費
	学力分析		
	府立高校実力テスト	・学力の状況を把握し、教科指導の充実を図るとともに、適切な希望進路の実現に役立てる。	21,916
	学力向上		
	府立高校「セカンドラーニング教室」設置事業	・義務教育段階の学び直しが必要な生徒の学習不安を解消し、学力不足による中退等の減少や学習意欲の向上による希望進路実現を図る。	1,000
	基礎学力補習	・学習習慣の確立、基礎基本の徹底により、生徒の基礎学力の充実を目指す取組を支援	978
	進路補習	・生徒の希望進路を実現するため、進学・就職等希望進路に対応したコース別補習の実施や、資格取得等促進に向けた取組を支援	2,784
	学習合宿	・夏季・冬季休業期間中等に学習合宿を実施し、学習習慣の確立や学習意欲の向上を図り、希望進路の実現に必要な学力を育成	13,300
大学連携教育プログラム	・高校の企画に適した大学や教授をコーディネートし、魅力ある学習活動を支援	331	
大学生教育ボランティア活用事業	・教職を目指す大学生等をボランティアとして受け入れ、授業補助や個別指導補助として活用	1,663	
担当課名	高校教育課 振 興 担 当 指導第1担当 指導第2担当	電話番号	075-414-5815 075-414-5851 075-414-5852

平成29年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	夢に応えられる府立高校づくり事業費		
予算額	104,902千円	新規・継続の別	継続
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目的 「府立高校特色化推進プラン」に基づき、生徒一人一人に応じた教育と時代の変化に対応した教育の実践により、生徒の個性や能力を最大限に伸ばし、希望進路の実現を図る。		
	2 内 容 (単位：千円)		
	事業名	概 要	事業費
	スーパーグローバルハイスクール設置事業	・国際的に活躍できる人材の育成や教育課程を開発	17,000
	スーパープロフェッショナルハイスクール設置事業	・先進的で卓越した取組を行う専門高校での研究開発支援	14,000
	京都フロンティア校支援事業	・地域連携やICT活用の推進など、各高校の特色づくりに向けた先進的な取組を支援	17,100
	地域創生推進校	・地域創生、地域連携に重点的に取り組む学校を支援	
	京都フロンティア校	・各校の特色に応じたテーマに基づく独自の取組を支援	
	スーパーサイエンスネットワーク京都	・大学研究者と高校生の共同研究や、課題研究発表会による交流を通じた科学技術人材の育成	8,550
	グローバルネットワーク京都	・グローバル企業社員等からの講義等を実施 ・高校生による研究論文コンテストを実施	3,295
	スペシャリストネットワーク京都	・民間企業と連携した商品開発や6次産業化に向けた実践的学習を実施	3,800
	数学オリンピック等チャレンジ事業	・数学や科学の国際大会へのチャレンジを支援 ・京都大学と連携し大会参加に向けた「道場」を開設	3,755
高校生学習チャレンジサポート事業	・府立高校のPC教室等で受講できる進学予備校等のコンテンツを活用した学習指導を実施	24,929	
京都フレックス学園構想推進事業	・府立清明高校における教育環境充実のための支援	12,473	
担当課名	高校教育課 振興担当 指導第1担当 指導第2担当 高校改革担当	電話番号	075-414-5815 075-414-5851 075-414-5852 075-414-5153

平成29年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	豊かな心を育てる教育推進事業費		
予算額	29,681千円	新規・継続の別	継続
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 体験活動等を通じて、子どもたちに豊かな人間性をはぐくむため、家庭や地域社会等との連携を図りながら、総合的な施策を推進する。		
	2 内 容 (単位：千円)		
	事 項	内 容	事業費
	KY0発見 仕事・文化体験活動推進事業 拡充	府内の小・中学校で実施 ・ 地域の伝統や文化に関する体験活動 (和装等内容拡充) ・ 仕事に関する体験活動 ・ ボランティア活動	15,000
	子どもの読書活動の推進	子ども読書本のしおりコンテストの実施	238
	「京の子ども 明日へのとびら」の作成等	心の教育の重要性に鑑み、京都の英知を結集した、豊かな人間性をはぐくむ学習資料集等の作成	14,443
	計		29,681
	担当課名	学校教育課 指導第2担当 社会教育課 社会教育主事	電話番号

平成29年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	読書活動推進事業費		
予算額	5, 000千円	新規・継続の別	継 続
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目 的 京都府子どもの読書活動推進計画（第三次推進計画）に基づき、子どもの読書活動を一層推進することにより、豊かな心の育成や「ことばの力」の向上を図る。		
	2 内 容 調べ学習に役立つ図書を府立図書館において整備し、「学校支援セット」としてメニュー化して、府内の公立図書館を通じて小・中学校、高等学校等に貸し出す。		
	区分	大テーマ	小テーマ（主なもの）
	小中学校版	環 境	地球環境全体、エコリサイクル、エネルギー
		古 典	物語・詩歌、伝統芸能
		ことば・読み物	日本（世界）の昔話・民話、絵本・紙芝居、英語
		食育・健康	日本（世界）の食、健康、食育レシピ
		福祉・人権	子どもの権利・人権、ボランティア、UD、障害
		国際理解	世界と日本、国際平和・戦争、オリンピック
		仕 事	職場体験、職業ガイド、暮らしに役立つ乗り物
		自然科学	宇宙、動物・植物・昆虫、おもしろ実験、数
		防 災	自然災害、安全対策
		歴史・社会	日本の地理・社会のしくみ、昔の暮らし・年中行事
		教科書掲載	小学3年～中学3年までの国語教科書掲載作品
		芸術・スポーツ	学校劇・群読、スポーツ
ヤングアダルト	中学生向き		
高校版	環 境	地球温暖化・環境危機、生物多様性・自然再生	
	医療・福祉	医療制度・医療現場、医療論理、人体・予防医学	
	教 育	学力・教育観、読書・リテラシー教育	
	文 化	伝統文化、異文化交流・多文化共生	
	社 会	国際協力・NPO・NGO、国境・民族問題	
	仕 事	仕事観、職種、外国の仕事、企業・起業	
	自然科学 そ の 他	宇宙、素粒子、数学、バイオテクノロジー、実験 芸術、ヤングアダルト、ミニ版	
担当課名	社会教育課 振 興 担 当	電話番号	075-414-5884

平成２９年度当初予算案主要事項説明

教 育 委 員 会

事業名	こころを育む古典の日推進事業費		
予算額	1, 0 0 0 千円	新規・継続の別	継 続
事業内容	1 目 的 古典の日(11月1日)を中心に、小・中学生による古典作品等の朗読・暗唱大会を行うことにより、児童生徒が古典に親しみ、日本語の美しさを感じることで言語力の向上を図る。 2 内 容 小・中学生による朗読・暗唱大会の開催 ▷源氏物語をはじめ伝統的な言語文化に関する古典作品等の朗読・暗唱 ▷児童生徒の随筆・小論文等の音読発表、プレゼンテーションによる学習成果の発表 ▷言語力の育成等に関する講演等 ▷高校生や保護者・地域の方などより多くの方が参加できる大会として教育局ごとに実施		
目 的 対 象 方 法 等	担当課名	学 校 教 育 課 指 導 第 1 担 当	電話番号 075-414-5833

平成29年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	高校生伝統文化事業費											
予算額	23,000千円	新規・継続の別	一部新規									
事業内容	1 目的 日本・郷土の伝統文化を尊重する態度の育成にあたり、京都府にゆかりの深い茶道や華道、古典など様々な有形・無形の文化財に関する学習に取り組み、伝統文化への関心を高めるとともに、豊かに生きる力をはぐくむ。 2 内容 茶道・華道・古典など文化財に関する学習を通して伝統文化を尊重する態度を育成する。 ○京都の伝統と文化を守り、受けつぎ、新たな文化を創造する心の育成 ○礼儀作法を通じての、規範意識や社会性の育成 ○人を思いやり、尊重する心の育成 ○豊かな感性、情緒の育成 ○優れた価値を有する古典に親しむ心と態度の育成 (単位：千円) <table><tr><th>事項</th><th>内 容</th><th>事業費</th></tr><tr><td>茶道・華道・古典を通して伝統文化を学習</td><td>■茶道 全府立高校47校で実施 ■華道 府立高校20校程度で実施 ■古典 府立高校20校程度で実施 (連歌や和歌、邦楽、和装文化等)</td><td>20,000</td></tr><tr><td>文化歴史推進校【新規】</td><td>■文化的建造物見学や地域文化フィールドワーク ■和服の着付けや和装の製作発表 ■発展的体験を通じ伝統文化を発信</td><td>3,000</td></tr></table>			事項	内 容	事業費	茶道・華道・古典を通して伝統文化を学習	■茶道 全府立高校47校で実施 ■華道 府立高校20校程度で実施 ■古典 府立高校20校程度で実施 (連歌や和歌、邦楽、和装文化等)	20,000	文化歴史推進校【新規】	■文化的建造物見学や地域文化フィールドワーク ■和服の着付けや和装の製作発表 ■発展的体験を通じ伝統文化を発信	3,000
事項	内 容	事業費										
茶道・華道・古典を通して伝統文化を学習	■茶道 全府立高校47校で実施 ■華道 府立高校20校程度で実施 ■古典 府立高校20校程度で実施 (連歌や和歌、邦楽、和装文化等)	20,000										
文化歴史推進校【新規】	■文化的建造物見学や地域文化フィールドワーク ■和服の着付けや和装の製作発表 ■発展的体験を通じ伝統文化を発信	3,000										
担当課名	高校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5852									

平成29年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	高校生「京の文化力」推進事業費											
予算額	8, 5 5 0千円	新規・継続の別	継 続									
事業内容 （目的 対象 方法等）	1 目 的 府立高校の文化部活動への支援等を通じて、京都文化の次世代への継承を図るとともに、京都ならではの文化をはぐくむ。											
	2 内 容 （単位：千円）											
	<table><tr><th>事 項</th><th>内 容</th><th>事業費</th></tr><tr><td>文化の次世代への継承</td><td>■高校文化部の強化指定による育成 ・強化・育成を目指す高校の文化部を指定（19部門） ・高い専門性を有する外部指導者による指導 ■強化・育成校の生徒が地域の小・中学校の文化祭等に参加</td><td>3, 800</td></tr><tr><td>芸術文化活動の推進・京都府高等学校文化連盟への助成</td><td>■京都府高等学校総合文化祭の開催 ■各部門の優秀校による発表等</td><td>4, 750</td></tr></table>			事 項	内 容	事業費	文化の次世代への継承	■高校文化部の強化指定による育成 ・強化・育成を目指す高校の文化部を指定（19部門） ・高い専門性を有する外部指導者による指導 ■強化・育成校の生徒が地域の小・中学校の文化祭等に参加	3, 800	芸術文化活動の推進・京都府高等学校文化連盟への助成	■京都府高等学校総合文化祭の開催 ■各部門の優秀校による発表等	4, 750
	事 項	内 容	事業費									
文化の次世代への継承	■高校文化部の強化指定による育成 ・強化・育成を目指す高校の文化部を指定（19部門） ・高い専門性を有する外部指導者による指導 ■強化・育成校の生徒が地域の小・中学校の文化祭等に参加	3, 800										
芸術文化活動の推進・京都府高等学校文化連盟への助成	■京都府高等学校総合文化祭の開催 ■各部門の優秀校による発表等	4, 750										
《 1 9 部 門 》 演劇、合唱、吹奏楽、器楽、邦楽、バトントワリング、美術・工芸、書道、写真、放送、囲碁、将棋、吟詠剣詩舞、郷土芸能、小倉百人一首かるた、新聞、文芸、茶道、自然科学												
担当課名	高校教育課 指導第2担当	電話番号	075-414-5852									

平成29年度当初予算案主要事項説明

文化スポーツ部・教育委員会

事業名	文化財保護緊急強化事業費		
予算額	278,500千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 府内の貴重な文化財を災害破損・流出防止の観点から早期保護を図るため、新たに創設する全国初の「暫定登録文化財」等の保存修理や防災対策としての整備に対する助成等を強化		
	2 事業概要 (単位：千円)		
	事業名	内 容	事業費
	暫定登録文化財等緊急修理保護事業費 新規	「暫定登録文化財」の緊急修理や防災対策に対する助成	100,000
	暫定登録文化財緊急修理補助	「暫定登録文化財」の著しい破損劣化箇所を緊急修復	(60,000)
	防災対策補助	「指定・登録・暫定登録文化財」の防災予防効果を高める資機材（消火器、収蔵箱等）整備	(40,000)
	府指定・登録文化財保存修理事業費 拡充	「府指定・登録文化財」の保存修理等に対する助成（件数拡大）	94,000
	未指定文化財保存修理事業費【文教課】	未指定であっても貴重な文化資料等の保存修理等に対する助成	65,000
	未指定文化財現況調査 新規	「暫定登録文化財」の登録に向けた調査等を実施	10,000
	建造物・史跡・埋蔵文化財の活用等 一部新規	国指定建造物保存修理現場公開や新たに史跡・埋蔵文化財のツアー等を実施	9,500
計			278,500
担当課名	文 教 課 文化財・資料保全担当 文化財保護課 企画調整担当 建造物担当 管理調査担当 記念物担当	電 話 番 号	075-414-4521 075-414-5896 075-414-5898 075-414-5905 075-414-5903

平成29年度当初予算案主要事項説明

教 育 委 員 会

事業名	歴史的建造物等保存伝承事業費		
予算額	1, 7 4 3, 4 0 7 千円	新規・継続の別	一部新規
事業内容 〔 目 的 対 象 方 法 等 〕	1 目 的 文化財を後世に継承するため、建造物等の保存修理や文化財維持管理等に要する経費の補助等を実施		
	2 内 容 (単位:千円)		
	事業名	内 容	事業費
	建造物保存修理受託事業費	国指定文化財建造物の受託修理 (内訳資料18-1)	1, 662, 508 (③債務負担行為135, 000)
	国指定文化財等保存修理・維持管理費補助金	国指定文化財等所有者が行う保存修理・維持管理事業等に補助	57, 000
	祇園祭山鉾保存修理事業費等補助金	重要有形民俗文化財である山鉾について山鉾保存会が行う緊急修理の負担軽減等	7, 499
	重要伝統的建造物群保存地区保存事業費補助金	重要伝統的建造物群保存地区保存事業を行う市町に対する補助	6, 900
	京都の史跡・埋蔵文化財活用事業費 新規	国史跡恭仁宮跡や府内の文化財を活用し、ツアー等を実施	5, 000
	建造物保存修理現場公開事業費 等		4, 500
	計		1, 743, 407
担当課名	文化財保護課 企画調整担当 建造物担当 管理調査担当 記念物担当	電話番号	075-414-5896 075-414-5898 075-414-5905 075-414-5903

平成29年度当初予算主要事項説明

教育委員会

事業名	歴史的建造物等保存伝承事業費 (建造物保存修理受託事業費)			
予算額	1, 6 6 2, 5 0 8千円 (③⑩債務負担行為135, 000千円)	新規・継続の別	継 続	
事業内容 （目的 対象 方法等）	◆ <u>京都府内の国宝・重要文化財建造物を受託修理（継続）</u>			
	1 目 的 国庫補助を受けて行われる国宝・重要文化財建造物の保存修理について、文化財所有者からの委託を受けて、府が直営により実施			
	2 事業内容			
	文化財の名称	種別	工事種別	29年度の主な内容
	ちおんいん ほんどう しゅうえどう 知恩院（本堂・集會堂他） ③⑩債務負担行為110, 000千円	国宝 重文	半解体修理 他	仮設素屋根解体、畳・塗装 修理等
	きよみずでら ほんどう 清水寺（本堂他）	国宝 重文	屋根葺替・ 部分修理他	本堂檜皮めくり、小屋組修 理、壁・塗装修理等
	にん なじ かんのんどう 仁和寺（観音堂他）	重文	半解体修理	観音堂木部修理、屋根土居 葺・瓦葺等、金堂塗装修理
	うらせんけじゅうたく 裏千家住宅	重文	解体修理他	軸部解体、繕い、組立、建 具修理、壁修理等
	おうばいん ほんどう く り 黄梅院（本堂及び庫裏）	重文	屋根葺替・ 部分修理	屋根檜皮葺等
	びやうどういん ほうおうどう 平等院（鳳凰堂）	国宝	部分修理	彩色塗装等修理
	きやうおうごくじ だい し どう 教王護国寺（大師堂）	国宝	屋根葺替・ 部分修理	屋根檜皮葺、床組補修、建 具補修、塗装修理等
	こうみょうじ に おうもん 光明寺（二王門） ③⑩債務負担行為25, 000千円	国宝	屋根葺替・ 塗装	屋根とち葺、塗装修理
	かもわけいかづちじんじや ろうもん 賀茂別雷神社（楼門他）	重文	屋根葺替・ 部分修理他	屋根檜皮葺、塗装修理等
ほんりゆうじ ほんどう 本隆寺（本堂他）	重文	半解体修理 他	屋根瓦降ろし、木部解体等	
計	1 0 件 1, 6 6 2, 5 0 8千円			
担当課名	文化財保護課 建造物担当	電話番号	075-414-5898	

平成29年度当初予算案主要事項説明

教 育 委 員 会

事業名	埋蔵文化財調査保存事業費		
予算額	45,000千円	新規・継続の別	継続
事業内容 目的 対象 方法等	1 目的 埋蔵文化財の保護と開発事業との調整を図るため、確認調査の実施や市町村が実施する調査等への補助を実施		
	2 内 容 (単位:千円)		
	事業名	内 容	事業費
	埋蔵文化財発掘調査費	農地などの開発事業に伴う発掘調査等を実施	15,000
	恭仁宮跡保存調査費	恭仁宮跡の将来の整備等に向けた発掘調査を実施	5,000
	埋蔵文化財発掘調査費等補助金	開発等に伴う緊急発掘調査や史跡買上等を行う市町村に対する補助	25,000
計		45,000	
担当課名	文化財保護課 企画調整担当 記念物担当	電話番号	075-414-5896 075-414-5903

平成２９年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	食育推進事業費		
予算額	５，５００千円	新規・継続の別	継続
事業内容	１ 目的 先進的な取組成果を府内に広く普及し、各学校における教育活動全体を通じた食育の推進を図る。 ２ 内 容 （１）京都府食育推進委員会の設置 学校給食未実施校を含むすべての学校で教育活動全体を通じた食育を推進するための支援策並びに学校給食における地産地消及び和食文化の継承に向けた方策について検討を行い、その成果を各学校に普及させる。 目 的 対 象 方 法 等 <京都府食育推進委員会> 大学教授等外部有識者、小学校長、中学校長、栄養教諭 保健体育課職員等 （２）モデル事業の実施 モデル校を指定し、小・中・高等学校における食育の実践的な取組を推進する。		
担当課名	保健体育課 健康安全教育指導担当 健康安全教育振興担当	電話番号	075-414-5872

平成29年度当初予算案主要事項説明

教育委員会

事業名	特別支援教育充実事業費		
予算額	188,556千円	新規・継続の別	継続
事業内容	1 目的 小・中学校の通常の学級に在籍する発達障害のある児童生徒に対して、適切な教育的支援や支援体制の整備などを先導的に行うため、非常勤講師を配置し、小・中学校における特別支援教育の充実を図る。 ※発達障害：LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、高機能自閉症等 2 内容 (1) 教員配置 発達障害のある児童生徒に対して、学校全体が組織的、体系的に取り組む体制の充実を図るため、退職教員等を非常勤講師として配置 (2) 配置効果 ○特別支援教育コーディネーターの活動（教育相談や関係機関との連携等）時間の確保 ○児童生徒一人一人の指導計画・教育支援計画の作成 ○一人一人の状況に応じた指導の推進		
目的 対象 方法等			
担当課名	教職員課 人事担当 特別支援教育課 指導推進担当	電話番号	075-414-5799 075-414-5835